
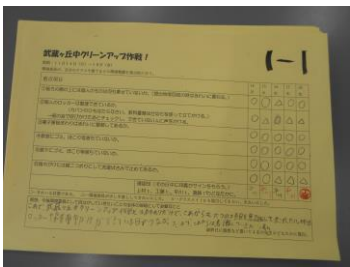






令和4年度（2022年度）学校版環境ISOへの取組
 〈 菊陽町立武蔵ヶ丘中学校 〉

1 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子(写真)	取組の実際
宣言		<p>ア 水道・電気代昨年度比5%減を目指す</p> <p>イ 書き損じはがき回収量昨年度増</p> <p>ウ リサイクル活動の強化（紙の使用量を減らす）</p> <p>エ 校舎内外の環境整備</p> <p>オ 毎朝、校内や学校周辺の清掃活動への参加</p>
行動	    	<p>●左の写真は、環境委員会を中心に教室や廊下等の環境整備を行う「武蔵ヶ丘中クリーンアップ作戦！」のチェック表である。後方の棚の整理や、ホコリやゴミのない環境づくりをクラスで呼びかけ、チェックを行った。内容項目を工夫しながら、今後も定期的に行う予定である。</p> <p>●左の写真は、節水を呼びかけるポスターである。水道の近くに掲示し、意識化を図っている。</p> <p>●左の写真は、印刷用紙を包んでいた包装紙を回収するボックスである。大きさごとに分け、印刷機のマスターを処分する際に包んだり、美術科などで絵の具の汚れ防止のための下敷きに使うなど、様々な用途に再利用している。</p> <p>●左の写真は、朝、校内の清掃活動にボランティアで参加している生徒が、校外のゴミ拾いをして拾ってきたゴミである。他にも、除草作業や、落ち葉のはき掃除などを行っている。雨天時は校内の清掃作業を行っている。</p> <p>●左の写真は、掃除用具入れの片付け方法を示した掲示物である。教室だけでなく、掃除用具入れが設置してあるところには掲示を行い、掃除用具を大切に使うよう呼びかけている。</p>

		<p>●左の写真は、保健委員会が呼びかけて回収している使い捨てコンタクトレンズケースの回収ボックスである。約半年間、定期的に呼びかけ、昇降口に設置して登校した際に入れられるようになっている。回収したコンタクトレンズケースは、リサイクル用品として再生される。</p>
記録		<p>●左の写真は、片面だけ印刷されて不要になったプリント類を置いている棚である。印刷室に設置し、裏面印刷用として再利用している。</p>
見直し		<p>●左の写真は、生徒会役員と環境委員会で呼びかけて回収を行った書き損じハガキである。年末に回収を告知し、1月下旬に回収を行った。今回は21枚しか集まらず、回収の仕方、呼びかけの仕方を今後見直していく必要がある。</p>

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>古紙回収を、環境委員会を中心に継続的に行うことができた。書き損じはがき回収は生徒会役員と環境委員会が中心となって行った。使い捨てコンタクトレンズのケースの回収を保健委員会が行った。また、緑化活動についても園芸委員会を中心に行うことができた。環境 ISO に関する取組を多くの生徒・職員が意識して行うことができた。</p> <p>コロナ禍ではあったが、感染予防対策を取りながら、保護者や地域と協力して、環境整備に取り組むことができた。</p>	<p>水道・電気代昨年度比5%減を目標に掲げたが、感染症対策による常時換気を行うための冷暖房代が増加して、目標を達成することができなかった。</p> <p>書き損じはがきの回収については、回収の仕方や呼びかけ方法などを改善していく必要がある。</p> <p>感染防止対策を図りながら、効果ある取組を行うため、さらなる工夫を考えていきたい。</p>